

## 公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターらいむの丘				公表日	2026年 1月 26日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	5	・概ね適切である。			
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	8	・職員が少ないのを、配置などで工夫している。		・人員を採用・異動などで増やす	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	4	・必要以上に物を置かないようしている ・スケジュールなどを写真で提示し、視覚化している			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	16	1				
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	16	1	・子どもの姿に応じて個別で過ごす部屋を設ける等している。			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	14	3	・日々の療育の振り返りを行っているが、時間の確保が難しいこともある。			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	2				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	2	・療育会や職員会議等で情報共有を行っている。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	15	1				
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	17					
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	17					
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	16	1	・個々に合わせた計画を作成している。		・計画的に作成していくよう努める。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	2			・各専門部分で情報共有する場を設けるよう努める。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	2			・計画書を計画的に作成していくよう努める。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	3	・日々の療育の振り返りで子どもの状況や様子を共有・確認している。			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16	1	・計画書には記載している。		・計画書を計画的に作成していくよう努める。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16	1	・療育後の振り返りの際に次回の内容をチームで検討し、決定している。			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16	1	・サークルの内容を変化させる等、活動名は同じでも内容に変化を持たせている。			

供 應	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	17			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	16	1	・療育開始前までにその日の流れや予測される姿等を職員間で話し合い、共有している。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	16	1	・その日のうちに振り返りを行い、次回以降の活動内容や支援について検討を行っている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	17			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	17		半年毎に計画書を見直し作成している。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	14	2		地域交流に関しては実施していない。
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	17		児童に合わせた選択肢を用意、選択肢の見える化等を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	17			
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	17			
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	16	1	・学校の困り感や保護者の困り感を聞き、学校と情報交換をする機会を設ける場合がある。 ・保育所等訪問や担当者会議時に共有	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	16	1	日常では保護者経由で情報共有が多い。	・システム的には、直接情報共有ができる方法もあるが、日常的に行うことは難しい為、よりスマートに情報共有できる機会があるとよい
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	7		・対象者がいないため未実施。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	12			・当事業所が児童発達支援センターであるため未実施。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	5	12		・活動時間が短いため、困難である。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	4		
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16			
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	4		・活動にフィードバックとして家族支援を行っているが、時間・内容ともに十分とはいえないことがあるため、今後検討していくたい。
評 価	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16	1		・契約時に説明を行っているが、その後については現状実施していないため、今後検討していくたい。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	17			
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	17			・計画書を計画的に作成していくよう努める
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16	1	・適宜行っている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	14	3	・保護者向け研修会の中で交流の場を設けている ・家族会等の案内を施設内に掲示している	・きょうだい同士の交流についての支援は今後の課題
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	17			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	17		・きずなネットにより配信している	・きずなネットでの配信について未読の保護者も多いため周知が必要
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	2	各個人の紙ファイルを作成し、鍵付きのロッカーに保管している	請求書類の受け渡し時には氏名や内容に誤りが無いかをチェックし不備が無いよう対応している
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	17		療育後には今日あった出来事などをお話しするとともに、茶話会や保護者研修会などを設けて気軽に会話ができるような環境を設けている	出来るだけ、多くの保護者が参加できるよう引き続きスケジュールに配慮していく
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12	5		地域でそのような行事があることを知らなかつたという事が少なくなるように広報していくことが課題
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	4	各種マニュアルは存在しており、必要に応じて職員が閲覧できるようにしている	想定した訓練自体の回数が少なく、職員がマニュアルを把握しきれていない
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	3	都度、月のスケジュールに応じて避難訓練などは実施している	突発的な対応が起こると、予定していた避難訓練が先延ばしになるなど、スケジュール調整が今後の課題
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	16	1	保護者とコミュニケーションを取るなどして状況を確認している	朝礼や職員会議で周知することはもちろんだが、把握しきれていない職員に対するフォローが今後の課題
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	17			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	3	心肺蘇生法やエビペンの使用法等、看護師の指導のもと研修・訓練を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14	3		安全計画の書類は家族等へ表示していない。避難場所については、周知できるよう掲示している。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	17		朝礼での報告と回覧することで、事業所内で共有し、検討ができている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16	1	毎年1回外部講師の研修会を実施。職員の虐待防止に努めている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	13	4		現在は該当する利用児はないので、未実施。 身体拘束についての記載は検討する。